

ブース24	拓実の会
【キャッチフレーズ】	研修概要
安全・安心で品質・食味の優れたイチゴづくり	【対象者】 イチゴを主とした経営で独立就農をしたい方 【受入人数】 若干名（応相談） 【研修期間】 1～2年、短期体験研修も可能です。 【応募資格】 18歳以上45歳未満 【選考方法】 面談により決定します。 【事業適用】 農業次世代人材投資事業（準備型） 【研修支援】 ▼拓実の会からの研修手当はありません。 ▼農業次世代人材投資事業（準備型）、ニューファーマー育成研修助成事業の活用が可能です。但し、要件によりますので、あらかじめ確認が必要です。
会社概要	【研修条件】 ▼農作業に必要な作業服等は研修者が用意して下さい。 ▼昼食は研修生が準備して下さい。 ▼研修生の住居からの通いになります。
▼「拓実の会」は、土づくりや減農薬栽培に力を入れ、環境に優しく安全・安心でおいしいイチゴづくりをモットーとしています。 ▼就農希望者を研修生として受け入れた後、地元の小学生を対象とした食育活動を通じ、地域貢献しています。 ▼イチゴを主体として、インゲン、ソラマメ、ニラ、水稲、レンコンの栽培管理から収穫、出荷調整、販売までの一連の実務、農業機械の操作・メンテナンスを学ぶ事ができます。研修終了後も経営が安定するまで支援を続けます。	
研修概要	連絡先
	【所在地】 小美玉市佐才265-3 【TEL】 0299-53-0904 【FAX】 0299-53-0904 【ホームページ】 — 【メールアドレス】 — 【担当者】 浜野 博士
【研修内容】 ・土づくり、栽培管理、収穫、出荷調整、販売を学ぶことができます 【求める人材像】 ・農業経験は問いませんが、やる気があり、農業が好きな方・普通運転免許を有する方（AT限定は不可）・研修後、経営開始に必要な自己資金を有している方	

ブース25	銚田地域就農支援協議会
銚田地域就農支援協議会	新規就農者への支援
銚田地域は、県の南東に位置し、東は鹿島灘、西は北浦等に挟まれ、銚田市、鹿嶋市、神栖市の3市を管轄にしています。 首都圏への園芸品目（メロン、ピーマン、トマト、イチゴ、葉菜類、カンショ、ニンジン、パレिशョ、ゴボウを中心とした食料供給産地として発展し、センリョウ、若松等花き類を合わせた）管内3JAの園芸品目の年間販売金額は約300億円となっています。 「銚田地域就農支援協議会」は、銚田市、鹿嶋市、神栖市、JA茨城旭村、JAほこた、JALおさい、銚田農業高等学校、鹿行農林事務所経営・普及部門（銚田地域農業改良普及センター）などの関係機関と、就農支援アドバイザー（農業三士）を構成員として、地域農業の担い手の確保・育成を推進するために設立されました。 当協議会では、新規就農者等の情報の共有化を図りながら、銚田地域で就農を希望する方への支援を行っています。	【就農相談】 1 就農相談 当地域へ就農を希望される方を対象に、随時相談を受付ています 2 新規就農者への支援 ①農業技術習得の支援 ・農家研修先の紹介 ・各種農業関係講座、研修会の開催及び紹介 ・就農支援アドバイザーによる助言・指導 ②就農に関する各種相談 ③営農開始資金情報の提供 3 国、県、市の支援制度の紹介 新規就農者向けの各種支援制度について紹介します。
	連絡先
	【相談窓口】 茨城県鹿行農林事務所経営・普及部門 （銚田地域農業改良普及センター） 【所在地】 銚田市銚田1367-3 [Tel] 0291-33-6193 【Fax】 0291-33-6725 [担当] 経営課 本谷、鈴木（智）

ブース26	水戸地域就農支援協議会	
水戸地域就農支援協議会	新規就農者への支援	
<p>【自然立地条件】 水戸地域は県のほぼ中央に位置し、東に太平洋、南に霞ヶ浦、沼沼に接し、水と緑に恵まれた自然豊かな平坦地域です。気象条件は、年平均気温13.4℃、年間降水量1,326mmであり、大洗町と水戸市の一部は海洋性気象の影響を受け、冬は温暖です。</p> <p>【社会経済条件】 首都から80～110km圏内にあり、JR常磐線や国道6号、常磐・北関東・東関東自動車道、茨城空港が整備され、交通が便利です。</p> <p>【農業経営形態】 農業の経営形態は多様です。主要河川沿いの水田ではイネ、ムギ、ダイズの水田営農が営まれています。那珂川沿いの肥沃な沖積畑では一部基地盤整備が行われ、ハウスで栽培されたJA水戸のブランドネギ「柔甘ネギ」の他に、露地ネギ、レタス、ブロッコリー、スイートコーン、イチゴなどが栽培されています。茨城町や小美玉市、大洗町の洪積火山灰台地では、加工用契約栽培のキャベツやバレイショの他、ダイコン、ゴボウ、カンショ、施設栽培のニラ、トマト、イチゴ、メロン、カーネーション、ガーベラ、トルコキキョウなどの生産が盛んです。更に、ひたちなか市や東海村では日本一の干しいも産地が広がっています。平成27年度の農業産出額は778.9億円で、うち、いも類を含めた野菜280.1億円(36.0%)、畜産372.1億円(47.8%)です。新しい農業の担い手は、2012年からの5年間で208名が新規就農をしています。</p> <p>【水戸地域就農支援協議会】 水戸地域就農支援協議会は、水戸市・大洗町・茨城町・小美玉市・ひたちなか市・那珂市・東海村の7市町村の農業関係課、農業委員会、JA水戸、JA常陸、JA新ひたち野、県央農林事務所(経営・普及部門)および就農支援アドバイザー(農業経営士担い手確保・育成委員など)が構成員として、地域農業の担い手の確保・育成を推進するために設立されました。当協議会では、新規就農者等の情報の共有を図りながら、水戸地域で就農を希望する方への支援を行っていますので、当地域の農業に興味を持ち、当地域で農業を始めたい方は、県央農林事務所(経営・普及部門)又は各市町村の相談窓口へご相談ください。</p>	<p>【就農相談】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 就農相談 当地域へ就農を希望される方を対象に、随時相談を受付けています。 2 新規就農者への支援 <ol style="list-style-type: none"> ① 農業技術習得の支援 <ul style="list-style-type: none"> ・農家研修先の紹介 ・各種農業関係講座・研修会の開催及び紹介 ・就農支援アドバイザーによる助言・指導 ② 就農に関する各種相談 ③ 営農開始資金情報の提供 3 国、県、市の支援制度 新規就農者向けの各種支援制度について紹介します。 	
連絡先		
<p>【相談窓口】 茨城県県央農林事務所経営・普及部門 (水戸地域農業改良普及センター) [所在地] 水戸市榎町1-3-1 水戸合同庁舎3階 [Tel] 029-227-1521 [Fax] 029-225-0955 [担当] 寺沼直美</p>		

ブース27	稲敷地域就農支援協議会	
稲敷地域就農支援協議会	新規就農者への支援	
<p>・稲敷地域の農業 稲敷地域は、利根川を挟んで千葉県に接する県南部に位置する龍ヶ崎市、牛久市、稲敷市、美浦村、阿見町、河内町の3市2町1村です。 霞ヶ浦湖岸から利根川流域に広がる水田地帯では主に水稲が栽培され、農地中間管理事業の活用や作業受託による規模拡大が進んでいます。また、レンコン、ブロッコリー、イチゴ、イチジク、施設野菜(トマト、ナス、キュウリ)、ネギが栽培され、龍ヶ崎市の「ファーストトマト」、河内町、稲敷市の「レンコン」が県の銘柄産地に、阿見町の「レンコン」が銘柄推進産地に指定されています。 霞ヶ浦西部に広がる稲敷台地の畑作地帯では、園芸作物の栽培が盛んで、今回見学させて頂いた稲敷市の「江戸崎カボチャ」、龍ヶ崎市・牛久市の「コギク」が銘柄産地に、牛久市、阿見町の「スイカ」と牛久市の「ダイコン」が銘柄推進産地に指定されています。しかし、いずれの地域においても高齢化が進み、担い手不足となっており、新しい人材が求められています。</p> <p>・稲敷地域就農支援協議会 龍ヶ崎市、牛久市、稲敷市、美浦村、阿見町、河内町、竜ヶ崎農業協同組合、稲敷農業協同組合、茨城かずみ農業協同組合、県南農林事務所稲敷地域農業改良普及センターなどの関係機関と、農業者の立場で新規就農者を支援する「就農支援アドバイザー」を構成員として、稲敷地域で新たに就農を希望する方への支援を行っています。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 就農相談 龍ヶ崎市、牛久市、稲敷市、阿見町、美浦村、河内町へ就農を希望される方を対象に随時相談を受け付けています。 2. 新規就農者への支援 <ol style="list-style-type: none"> ① 農業技術習得の支援 <ul style="list-style-type: none"> ・農家研修先の紹介 (JA稲敷江戸崎南瓜部会、阿見町露地野菜農家など) ・各種農業関係基礎講座、研修会の開催および紹介 ・就農支援アドバイザーによる助言・指導 ② 資金情報の提供 3. 国、県、市町村の支援制度の紹介 新規就農者向けの支援制度について紹介します。 	
連絡先		
<p>【相談窓口】 茨城県県南農林事務所 稲敷地域農業改良普及センター <所在地> 〒300-0504 稲敷市江戸崎甲541-2 <問い合わせ先> TEL 029-892-2934 FAX 029-892-6684 <ホームページ> http://www.pref.ibaraki.jp/soshiki/nourinsuisan/nannourin/inanofu/ <メールアドレス> inanofu@pref.ibaraki.lg.jp</p>		

ブース27	稲敷農業協同組合江戸崎南瓜部会
【キャッチフレーズ】	江戸崎南瓜部会の取り組み
「組織づくりは人づくり」 「良品に安値なし」	<ul style="list-style-type: none"> ●品質管理の徹底 【江戸崎かぼちゃ】はブランド産地としての地位を確立するとともに、高単価で販売が出来る安定的な品質を保持しています
稲敷農業協同組合 江戸崎南瓜部会の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・全ほ場を対象にして、栽培期間中の育成状況と着果状況を確認します。・全ほ場から一果ずつ果実を試割りして熟度を確認後収穫開始日を定めています。・目揃会(作型ごと)を開催し、出荷開始前に企画や箱詰めを確認しています。・検査員の目視・触診による集荷場での全箱開口検査を行います。
平成29年度春作 生産者27名(栽培面積25ha) 販売金額 約1.9億円(平成28年度実績) 主な出荷先 東京青果他(全量市場出荷) 出荷期間 5月中旬～8月上旬・11月下旬～12月上旬	<ul style="list-style-type: none"> ●研修受入制度の実施 【担い手確保・受入に取り組んでいます】 ・新規就農者の受入組織を設立し、継続して研修生を確保受入します。・部会生産者の指導を受けながら栽培技術や出荷販売・流通についてのスキルを身につけます。・研修終了後の就農や定着するための支援を行います。
「江戸崎かぼちゃ」の特徴 地理的表示保護制度に登録されています	連絡先
	【相談窓口】 稲敷農業協同組合 中部支店 営農支援課 [担当] 関川 【所在地】 〒300-0504稲敷市江戸崎甲3016番地の3 【Tel】 029-892-6645 【Fax】 029-892-4571 【ホームページ】 https://www.ib-ja.or.jp/ja/inashiki/ 【メールアドレス】 inashiki.cyuubu@ja-ibaraki.jp
着果後55日以上での完熟した状態で収穫しているため、ほくほくした甘みが特徴です。これらの厳しい基準や高い品質が評価されGI※登録に至りました。※GI…地理的表示保護制度とは、地域で長年育まれた特別な生産方法により、高い品質・評価を得ている農林水産物・食品の名称を品質の基準とともに国が保証し、知的財産として保護するものです。	

ブース28	土浦地域就農支援協議会
土浦地域就農支援協議会	新規就農者への支援
土浦地域は、県のほぼ中央に位置し、管内は土浦市、石岡市、かすみがうら市です。霞ヶ浦湖岸の低地には主に水稲、レンコンが栽培されています。また、筑波山麓から霞ヶ浦湖岸に至る台地では、果樹(ナシ、クリ)、グラジオラス、コギク等が栽培されており、特徴ある産地を形成しています。	1. 就農相談 当地域へ就農を希望される方を対象に、随時相談を受付けています(必ず事前予約をお願いします)。
特に、レンコンは日本一の産地で、後継者や新規参入者等の新規就農者が増えています。	2. 新規就農者への支援 ① 農業体験・研修等の紹介、農業技術習得の支援 ② 就農に関する各種相談 ③ 営農開始資金情報の提供 ④ 農地情報等の提供 ⑤ 就農支援アドバイザーによる助言・指導 ⑥ 販売方法に関する相談、情報提供
「土浦地域就農支援協議会」は、土浦市、石岡市、かすみがうら市、土浦農業協同組合、新ひたち野農業協同組合、やさど農業協同組合、県南農林事務所経営・普及部門(土浦地域農業改良普及センター)などの関係機関と、就農支援アドバイザー(農業三士の代表)を構成員として、地域農業の担い手の確保・育成を推進するために設立された協議会です。	3. 国、県、市の支援制度の紹介 新規就農者向けの各種支援制度について紹介します。
当協議会では、新規就農者等の情報の共有化を図りながら、土浦地域で新たに就農を希望する方への支援を行っています。	
	連絡先 【相談窓口】 土浦市産業部農林水産課 【所在地】土浦市大和田町9-1 【Tel】029-826-3459 石岡市経済部農政課(石岡市新規就農者支援センター) 【所在地】石岡市柿岡5680-1 【Tel】0299-43-1111 かすみがうら市環境経済部農林水産課 【所在地】かすみがうら市大和田562 【Tel】029-897-1111 茨城県県南農林事務所経営・普及部門 (土浦地域農業改良普及センター) 【所在地】土浦市真鍋5-17-26 【Tel】029-822-8517

ブース29	常陸大宮地域就農支援協議会
<p>☆常陸大宮地域の農業☆ 茨城県北西部の常陸大宮市と大子町は、美しい空と雲、豊かな森林、清流久慈川と那珂川が流れる自然環境の美しい地域です。</p> <p>主な農作物は、水稲、畜産、野菜(ネギ、ナス、イチゴ)、果樹(リンゴ)、茶、コンニャク、花き(枝物)等です。 野菜では、主要品目を補完するものとして、アスパラガスやロマネスコ、ミニカラーピーマン等が栽培されています。</p> <p>「常陸大宮地域就農支援協議会」は、常陸大宮市と大子町、農業委員会、JA常陸、大子町畜産農業協同組合、茨城県常陸大宮地域農業改良普及センターなどの関係機関を構成員として、地域農業の担い手確保・育成を推進するために設立されました。 当協議会では、就農を希望する皆さんに、就農前の準備から就農後も農村地域に定着できるよう、きめ細かな支援活動を行っています。</p> <p>◎これまでに対応した地域への非農家出身者による就農事例 「直売を主体としたイチゴ経営」 「直売を主体とした稲作経営」 「奥久慈なす・奥久慈ねぎなどの市場出荷型露地野菜経営」 「市場出荷型の露地花木(枝物)経営」 「和牛繁殖経営」 「第三者継承による酪農経営」 県内外からの新規参入事例が豊富です。</p>	<p>新規就農者への支援</p> <ol style="list-style-type: none"> 就農相談 常陸大宮市と大子町へ就農を希望される方を対象に、随時相談を受け付けています(事前予約をお願いします)。 新規就農者への支援 <ol style="list-style-type: none"> 農業技術習得の支援 <ul style="list-style-type: none"> 農家研修先の紹介 各種農業関係講座、研修会の開催および紹介 就農支援アドバイザー(地域のベテラン農業者)による助言や指導 資金情報の提供 農地情報の提供 住宅、空き家情報の提供 国、県、市町の支援制度の紹介 新規就農者向けの各種支援制度について紹介します。 <p>連絡先</p> <p>【相談窓口】 茨城県北農林事務所常陸大宮地域農業改良普及センター <所在地> 〒319-2255 常陸大宮市野中町3083-2 TEL 0295-53-0116 FAX 0295-53-1077 <メールアドレス> miyanofu@pref.ibaraki.lg.jp <担当> 住谷 幸 (すみや こう)</p>


ブース30	(一社)茨城町農業公社
<p>研修に必要な農地、ハウス、農機具等を無償で貸与！ 実践的な研修により就農を支援します。</p> <p>概要 茨城町は、潤沼(ラムサール条約に登録された関東唯一の汽水湖)を中心に豊かな自然に囲まれ、農業を始めるのに最適な田園都市です。 町の農産物は、水はけのよい土地を活かしてつくられるメロン、イチゴ、ばれいしょ、キャベツ、小松菜、水菜などがあげられます。 町農業公社は平成27年7月に設立し、新たな農業の担い手の確保に向け、2年間の先進農家での研修と自ら作付けを行う実学等を通して技術習得を図り、安心して就農できるよう支援してまいります。 最近の研修生の例として、2組の町外からの移住者は、当社が斡旋した空き家を借り入れ、先進農家であるネギ農家とニラ農家でそれぞれ研修しながら、農業公社の研修ほ場で自ら作付けする実地研修を行い、独立に向けて研修に励んでいます。</p>  	<p>新規就農希望者への支援</p> <ol style="list-style-type: none"> 募集内容 茨城町に就農・定住を希望される方を対象といたします。 ※受入対象 1組/年間 茨城町に原則夫婦で就農・定住を希望される45歳までの方を対象とします。 支援内容 <ol style="list-style-type: none"> 町内空き家等斡旋、家賃補助 研修圃場及びパイプハウスの貸付け 農機具、資材等の貸付け 研修の実施 関係機関に研修を委託し、技術研修・指導を行います。 <p>連絡先</p> <p>【相談窓口】 一般社団法人 茨城町農業公社 <所在地> 〒311-3131 東茨城郡茨城町小堤1023-1 小堤地区学習等供用施設1階 <担当者>長洲・安藤 <問い合わせ先> TEL 029-215-8002 FAX 029-292-1392 E-mail noukousha@town.ibaraki.ibaraki.jp <受付時間> 8:30~17:15(土・日・祝日を除く)</p> 

ブース31	笠間地域就農支援協議会
<p>笠間地域就農支援協議会</p> <p>笠間地域は、茨城県の中央部に位置する笠間市と城里町の1市1町が管内です。北部には那珂川周辺に沖積地が広がり、中央部から南東部には酒沼川が流れ、中央部は八溝山系に囲まれた盆地南東部は平坦地となっています。</p> <p>笠間市では県内でも有効の産地であるクリやコギクをはじめ、ナシ、イチゴなど園芸作物が主流です。その中で、コギクについては新規就農者に対してベテラン生産者が技術支援を行う体制が整っていることもあり、Uターンを中心とした新規就農者が増えています。</p> <p>城里町では、茶や赤ネギなどの地域特産物や、トマト・キュウリなどの施設野菜、サトイモ・ゴボウなどの根菜等が栽培されています。</p> <p>特に新規参入者は、小面積で収益性の高いトマト・キュウリでの経営開始が増えています。また、最近では定年帰農者でも栽培しやすいオクラやショウガといった軽量野菜の栽培も盛んになっています。</p> <p>「笠間地域就農支援協議会」は、笠間市、城里町、常陸農業協同組合、水戸農業協同組合、茨城県県央農林事務所笠間地域農業改良普及センターなどの関係機関と、農業者の立場で新規就農者の支援をする「就農支援アドバイザー」を構成員として、新規就農者の確保と育成を推進するために設立された協議会です。当協議会は、地域農業を維持・発展させる人材の確保・育成を図るため、笠間地域で新たに就農を希望する方への支援を行っています。</p>	<p>新規就農者への支援</p> <p>1. 就農相談 当地域へ就農を希望される方を対象に、随時相談を受け付けています（なるべく事前予約をお願いします）。</p> <p>2. 新規就農者への支援 ① 農業体験・研修等の紹介、農業技術習得の支援 ② 就農に関する各種相談、計画作成支援 ③ 営農開始資金情報の提供 ④ 農地情報等の提供 ⑤ 就農支援アドバイザーによる助言・指導 ⑥ 販売方法に関する相談、情報提供</p> <p>3. 国、県、市町の支援制度の紹介 新規就農者向けの各種支援制度について紹介します。</p> <p>連絡先</p> <p><相談窓口> ◎就農地が定まっている（希望がある）方は、以下の市町へ直接ご相談下さい。 【笠間市を希望する方】 ○笠間市産業経済部農政課 【住所】笠間市中央3-2-1 [TEL] 0296-77-1101（代） 【城里町を希望する方】 ○城里町農業政策課 【住所】城里町石塚1428-25 [TEL] 029-288-3111（代）</p> <p>◎まずは農業に触れてみたい方、就農地が定まっていない方は下記までご相談ください。 ○茨城県県央農林事務所笠間地域農業改良普及センター 【住所】笠間市笠間1531 [TEL] 0296-72-0701</p>

ブース32	常陸太田地域就農支援協議会
<p>常陸太田地域就農支援協議会</p> <p>常陸太田地域就農支援協議会は、常陸太田市、日立市、高萩市、北茨城市の4市の農家代表、各市農業関係課、各市農業委員会事務局、常陸農業協同組合、日立市多賀農業協同組合、茨城酪農協同組合里美事業所と県北農林事務所経営・普及部門が、構成員となって「地域ぐるみ」で就農希望者が、円滑に就農・定着できるよう支援しています。また、新規就農者等担い手に関する情報の共有化を図っています。</p> <p>◎ 常陸太田地域の農業 常陸太田地域は、太平洋沿岸の平坦地域と北茨城市から常陸太田市にかけて阿武隈八溝山系の中山間地です。主な農作物は、米・果樹（ブドウ・ナシなど）が生産されるほか、花卉（シクラメン・カーネーション）や施設園芸（トマト）で、畜産も行なわれています。 露地野菜や施設での野菜生産（ナス、ネギ）などで新規就農や、就農希望の相談もあります。</p> <p>農産物の販売面については、自分で販路開拓をすることを求められますが、地域内の直売所を活用しての販売も可能です。</p> <p>管内には、「有機農業による多品目栽培経営」や「施設ハウストマト経営」等で就農した事例があります。</p>	<p>新規就農者への支援</p> <p>【就農相談】 1 就農相談 常陸太田地域（常陸太田市、日立市、高萩市、北茨城市）へ就農を希望される方を対象に、随時相談を受けています。（事前予約をお願いします。）</p> <p>2 新規就農者への支援 ① 農業技術習得の支援 ・農家研修先の紹介 ・各種農業関係講座・研修会の開催及び紹介 ・就農支援アドバイザーによる助言・指導 ② 就農に関する各種相談 ③ 営農開始情報の提供</p> <p>3 国、県、市の支援制度 新規就農者向けの各種支援制度について紹介します。</p> <p>連絡先</p> <p>【相談窓口】 茨城県県北農林事務所経営・普及部門 （常陸太田地域農業改良普及センター） <所在地> 〒313-0013 常陸太田市山下町4119 <問合せ先> TEL 0294-80-3340 FAX 0294-80-3348</p>

ブース33		いばらき地域しごと支援センター	
概要			
<p>県内のしごと情報や移住等に係わる、生活情報の一元的な収集・発進。 又、移住希望者等に対する個別相談や現地案内。</p> <p>茨城へ移住・就農・就職をお考えの方へ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>茨城に住みたい 茨城で就農したい 茨城の農業法人に就職したい 茨城でしごとをさがしたい 茨城の情報がほしい</p> </div> <p>「支援相談員がご相談をお受けします」</p>		<p>【場所】 水戸市三の丸1-7-41 (いばらき就職・生活総合支援センター内)</p> <p>【連絡先】 029-233-1601 029-300-1916</p> <p>【開設時間】 9:00~16:00 (月~金)</p> <p>【アクセス】 JR常磐線 水戸駅北口より 徒歩10分</p>	

ブース35		茨城労働局 (ハローワーク)	
茨城県内各ハローワーク		概要	
ハローワーク水戸	水戸市水府町1573-1 Tel.029-231-6221	<p>ハローワークは職業相談や職業紹介、求人情報の提供、就職に必要な資格・職業訓練コースの情報提供等の就職活動にかかる幅広い支援、並びに失業された方への雇用保険失業給付を支給するなど、生活及び雇用の安定を図るための事業を行う国の機関です。</p> <p>新農業人フェア in いばらきの会場では、農業関係の求人情報の提供、職業相談、職業紹介を行います。</p> <p>【業務取扱時間】</p> <p>◎ハローワーク 平日 午前8時30分~午後5時15分 休日 土・日・祝日 12月29日~1月3日</p> <p>※ハローワーク水戸・ハローワーク日立の開庁延長時間 月・火曜日は午後6時30分まで 第2・4土曜日は午前10時~午後5時まで 雇用保険業務は取扱っておりません。</p> <p>なお、ハローワーク日立の月・火曜日の延長時間は平成29年9月末まで(第2・4土曜日は変更ありません)</p> <p>◎ハローワークを除く機関 左記の土浦わかものハローワーク及び地域職業相談室・ふるさとハローワークは、開庁時間・開庁日はハローワークの開庁時間とは異なっておりますので、お問い合わせのうえ、ご利用ください。</p>	
ひたちなか市地域職業相談室	Tel.029-354-5122		
ハローワーク笠間	笠間市石井2026-1 Tel.0296-72-0252		
ハローワーク日立	日立市若葉町2-6-2 Tel.0294-21-6441		
ハローワーク筑西	筑西市成田628-1 Tel.0296-22-2188		
ハローワーク下妻	下妻市古沢34-1 Tel.0296-43-3737		
ハローワーク土浦	土浦市真鍋1-18-19 Tel.029-822-5124		
土浦わかものハローワーク	Tel.029-882-0172		
つくば市ふるさとハローワーク	Tel.029-850-3070		
ハローワーク古河	古河市東3-7-23 Tel.0280-32-0461		
ハローワーク常総	常総市水海道天満町4798 Tel.0297-22-8609		
ハローワーク石岡	石岡市東石岡5-7-40 Tel.0299-26-8141		
ハローワーク常陸大宮	常陸大宮市野中町3083-1 Tel.0295-52-3185		
常陸太田市地域職業相談室	Tel.0294-80-5660		
ハローワーク龍ヶ崎	龍ヶ崎市若柴町1229-1 Tel.0297-60-2727		
取手市地域職業相談室	Tel.0297-70-9025		
ハローワーク高萩	高萩市本町4-8-5 Tel.0293-22-2549		
ハローワーク常陸鹿嶋	鹿嶋市宮中1995-1 Tel.0299-83-2318		
鉾田市地域職業相談室	Tel.0291-34-0117		
		連絡先	
		<p>茨城労働局 〒310-8511 水戸市宮町1丁目8-31 職業安定部職業安定課 Tel.029-224-6218 職業対策課 Tel.029-224-6219 訓練室 Tel.029-277-8001</p>	

ブース35	JA茨城県中央会 県域営農支援センター	
概 要	連 絡 先	
<p>当センターは、茨城県内JAの就農支援に関する相談窓口となっています。就農支援に取り組むJAの活動内容をご紹介します、JAの組織・事業についてご紹介をします。</p>	<p>JA茨城県中央会 県域営農支援センター (担当：営農マーケティング支援室) 〒310-0022 水戸市梅香1-1-4 茨城県JA会館内2F TEL 029-232-2101 FAX 029-232-3040 【ホームページ】 http://www.ib-ja.or.jp</p>	
相 談 時 間		
<p>【就農相談】 JA茨城県中央会 県域営農支援センター 営農・マーケティング支援室 月曜日～金曜日：午前9時から午後5時まで</p>		

ブース36	農業法人等就職相談	
農業法人就職相談・就農支援	連 絡 先	
<p>○茨城県内の農業法人等に就職を希望する方のご相談をお受けしています。 自分で農業を始めるためには、農地や資金などの課題をクリアしなければなりません。農業をしたいという意欲があれば、農業法人等に就職して農業に就くことができます。多くの農業法人等が特徴的な経営を行っている茨城県で、就農の夢を実現しませんか。 お気軽に当ブースにお立ち寄りください。</p> <p>○茨城県農林振興公社は、「農業無料職業紹介所」として、県内農業法人等の求人情報を提供し、就職の斡旋を行っています。</p> <p>○「無料職業紹介所」として、相談会に出展されている農業法人以外の求人情報もありますので、詳細につきましては、農業法人等就職相談ブースで直接ご相談ください。</p>	<p>【相談窓口①】 (公社)茨城県農林振興公社 (茨城県新規就農相談センター・農業無料職業紹介所) 〈所在地〉 〒311-4203 水戸市上国井町3118-1 〈問い合わせ先〉 TEL 029-239-7131 FAX 029-239-7097 〈ホームページ・メールアドレス〉 http://www.ibanourin.or.jp/concier/ E-mail:ibaraki-ninaite@ibanourin.or.jp</p> <p>【相談窓口②】 (一社)茨城県農業会議 〈所在地〉 〒310-0852 水戸市笠原町978-26 茨城県市町村会館内 〈問い合わせ先〉 TEL 029-301-1236 FAX 029-301-1237</p>	

茨城で農業をはじめよう！

新規就農者への支援

☆茨城県の農業概要・特徴☆

平坦な農地と温和な気候、首都圏の大消費地に近いことなど有利な条件を生かし、全国屈指の農業県として発展してきました。
平成27年の茨城県の農業産出額は、4,549億円となり8年連続で北海道に次ぐ第2位となっています。全国第1位の作物は、メロン、レンコン、ほしいも、ミズナ、チンゲンサイ等があります。(平成26年度出展：農林水産省統計データ)

☆新規就農者の状況☆

平成27年度の新規就農者は、269名。青年は(16歳～39歳)202名、中高年は(40歳～65歳)は67名。
このうち農外からの新規参入者は青年は45名、中高年は15名でした。
主な経営類型は野菜が72%で最も多く、次に普通作(16%)、果樹(5%)、畜産(3%)、花卉(3%)となっています。

☆就農支援の特徴☆

茨城県では、地域での就農相談窓口として、県内12の地域農業改良普及センターに就農支援協議会を設置し、新規就農希望者が円滑に就農できるよう農業者と協力して支援の充実に努めています。

☆地域就農支援協議会☆

各地域就農支援協議会は、農林事務所、市町村、農協店農業委員会などの関係機関と農業者が連携して就農相談をはじめとした支援活動を行っています。
就農地が決まっている、または、決まった段階では、就農地を管轄する地域農業改良普及センター(農林事務所 経営・普及部門)が中心となり就農を支援します。

ニューファーマー育成研修助成事業：

栽培技術等の習得のために農業者のもとでの研修を支援します。認定新規就農者又は、公社理事長が研修計画を承認した就農希望者(農業次世代人材投資資金の要件に該当しない方)の長期研修(概ね1年以上)を受け入れる農業者等に対して助成をしています。

研修生は研修手当の支給を受けながら、農業者として自立するために必要な農業技術や経営感覚を習得することができます。

農業次世代人材投資資金(準備型)：

対象者(以下の要件を全て満たす者)

①就農予定時の年齢が、原則45歳未満であること。
②県が認める研修期間・先進農家等で概ね1年以上研修を受けること。

③独立・自営就農又は、雇用就農又は、親元での就農を目指すこと。 最長2年 交付額 150万円/年

※研修終了1年以内に原則45歳未満で就農しなかった場合及び交付期間の1.5倍(最低2年間)の期間、独立・自営就農を目指す者について、就農後5年以内に認定新規就農者又は認定農業者にならなかった場合などは、返還になります。

連絡先

【相談窓口】

(公社)茨城県農林振興公社(茨城県新規就農相談センター)
〈所在地〉 〒311-4203 水戸市上国井町3118-1
〈問い合わせ先〉 TEL 029-239-7131 FAX 029-239-7097
〈ホームページ・メールアドレス〉
<http://www.ibanourin.or.jp/conciel/>
E-mail:ibaraki-ninaite@ibanourin.or.jp